

アナログウォッチ 保証書 取扱説明書

取扱説明書番号 M-005D

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

保証書	
本保証書は日本国内のみにて有効です。 THIS GUARANTEE IS VALID ONLY IN JAPAN. 此保証書適用範囲収録日本国内有効。	
保証期間：お買上日より6ヶ月	
お買上げ日： 年 月 日	
お客様名	様
販売店	

<保証規定>

この時計をご使用中、取扱説明書にそった正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により無料で修理・調整いたします。

- 保証の対象となる部分
ウォッチの回路、コイル等電気部品、歯車等機械部品
- 保証の態様(方法)
修理・調整を原則といたします。
修理の際、ガラス・ケース・文字板・針・りゅうず・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。
- 保証を受けるための条件(手続き)
保証規定による修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買い上げ店にご持参ください。
ご贈答・ご転居などにより、お買い上げ店での保証を受けられない場合は、**Q&A**お客様相談室にお問い合わせください。
- 保証の適用除外
保証期間中でも次の場合は有料修理となりますのでご了承ください。
 - 革バンド、ウレタンバンド、電池交換及び使用中に生じる外観上の変化(ガラス、ケース、バンド類の小傷、汚れ)
 - お客様ご自身による修理・改造または、誤ったご使用や不注意による故障及び損傷。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書にお買い上げ店名及びお買い上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 火災・火災・事故などによる故障及び損傷。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を保証するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※本保証書は、日本国内のみ有効です。

保証とアフターサービスについて

- 保証について
正常なご使用中、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。
- 修理用品について
ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外表部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- ご贈答・ご贈答品の場合
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、下記**Q&A**お客様相談室へご相談ください。
- 定期点検(有償)について
・防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。
・分解掃除(内装修理)について
腕時計を長くご使用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は長くご使用いただくことにより磨耗してまいります。これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。
- その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または下記**Q&A**お客様相談室へご相談ください。

サービス窓口：Q&Aお客様相談室

TEL.	03-6631-2775
受付時間	9:30~17:30 月~金(祝日、年末年始を除く)
メールアドレス	qqsupport@citizen.co.jp
URL	http://qq-watch.jp

製造発売元 シチズン時計株式会社 国内時計事業部 **Q&A**課

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
	■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

ご使用になる前に

十分に光を当てて充電してからご使用ください。
この時計には電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。持続時間の目安は、「製品仕様 5. 持続時間」をご覧ください。

お取り扱いにあたって

△注意 人への危害を防ぐために
・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・時計をしまったまま放置しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

△注意 使用上の注意
・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。
・水分のついたまよりりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。

・万、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、**Q&A**お客様相談室へ修理、点検を依頼してください。
・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
海水に濡したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
水道水を蛇口から直接時計にかけてください。
入浴するときは時計をはずす。
・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

△注意 携帯時の注意

△バンドについて
・皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
・ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたりお取り扱いください。
・以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
腐食により、バンドに異常が認められたとき
バンドのピンが飛び出しているとき
・お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整中にケガをする恐れがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)バンドの調整は、お買い上げ店または、**Q&A**お客様相談室にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

△温度について
極端な高温・低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。
△磁気について
・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康巻など)、冷蔵庫のマグネット、パソコンの留め具、携帯電話のスピーカークバー、電磁調理器などに近づかないでください。
△ショックについて
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。
△静電気について
・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。
△化学薬品・ガス・水銀について
・化学薬品・ガスの中での使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレンジング・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。
△保護シールについて
・時計のガラス部分や金属部分(裏蓋、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

△注意 時計は常に清潔に

・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさなままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回らせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落とすようにしてください。

・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れや衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルゲンなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
・汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間に付まったゴミや汚れは柔らかいケなどで除去してください。
・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

防水性能について

△警告 防水性能について
・時計の文字板および裏蓋の防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
・WATER RESIST (ANT) xx bar はW.V.R. xx bar と表示している場合があります。
・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できませんが、水中での使用はできません。
・日常生活強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できませんが、素潜り(スキュービング)やスキューバダイビングなどには使用できません。
・日常生活強化防水時計(10気圧防水)は、素潜りには使用できませんが、スキューバダイビング・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示 文字板 または 裏蓋	仕様	水がかる 程度の 使用(雨、 洗車、雨など)		水仕事や 一般水泳に 使用(プール、 ウォータースポーツに 使用)		潜水やヘリウム ガスを使用した スキューバダイビング などの特殊な 状況での使用	
			×	○	×	○	×	○
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×	×
日常生活用 防水時計	WATER RESIST 3気圧防水	3気圧防水	○	×	×	×	×	×
日常生活強化 防水時計	WATER RESIST 5気圧防水	5気圧防水	○	○	×	×	×	×
日常生活強化 防水時計	WATER RESIST 10気圧防水	10気圧防水	○	○	○	×	×	×

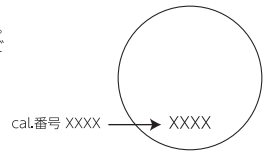
夜光付き時計の場合は
時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質は一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。
○蓄えられた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
○光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
○光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかつたり、発光してもすぐに暗くなってしまふ場合がありますのでご注意ください。

製品仕様

1. 水晶振動数	32,768Hz(Hz=1秒間の振動数)		
2. 時間精度	平均月差±20秒以内(常温5℃~35℃)		
3. 駆動方式	ソーラー電源、充電用電池1個		
4. 付加機能	充電警告機能、クイックスタート機能 過充電防止機能		
5. 持続時間			
	cal.番号	フル充電状態~止まり	2秒連計~止まり
	EL01	約6ヶ月	約4日
	EL11		
	EM01		
	EM11		
	EL31		
	2085	約3.5ヶ月	約2日
	2070		
	2170		

※cal.番号は右図のように裏

蓋に刻印されており、
お確かめの上、使用電池をご
参照ください。



※二次電池の交換は絶対に行わないでください。

商品の特徴

この時計は文字板内にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログソーラー電源機能搭載ウォッチです。

《ソーラー電源機能搭載ウォッチの上手な使い方》

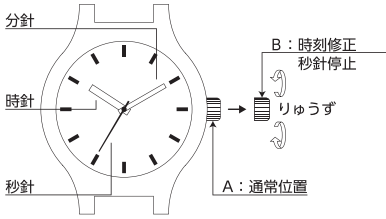
快適にこの時計をご使用いただくためには、余裕を持って充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)
毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

この取扱説明書は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なってもご使用になられます。また、お買い上げ商品にない機能が載っておりましたらその箇所は省いてご利用ください。

針の合わせ方

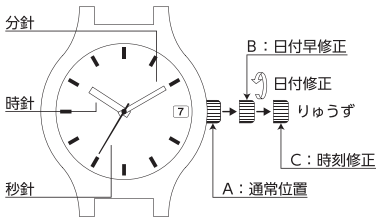
あらかじめ秒針を0秒に合わせ、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせ、時報と同時にリゅうずを押し込むと正確な時刻に合わせられます。この時、分針が若干動くことがありますが故障ではありません。(時報サービス117番で合わせると便利です。)
日付付きの時計の日付は31日周ります。小の月(月末が30日と2月末)から翌月の1日へは、リゅうず操作での切替えが必要です。

三針の時計：cal. EL31/2085/2070/2170



- 1) 秒針が0秒の位置で、リゅうずをB(1段引き)の位置まで引き出して、リゅうずを回して時刻合わせをしてください。
- 2) 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。時計がスタートします。

日付のついている時計：cal. EL11/EM11



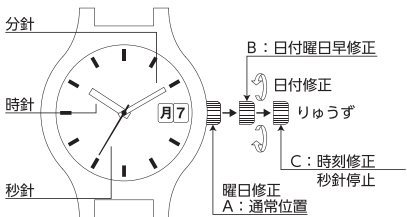
- 1) 秒針が0秒の位置で、リゅうずをC(2段引き)の位置に引き出し、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 2) 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB(1段引き)の位置に戻し、左に回して本日の日付を合わせてください。
- 3) 日付が合いましたら、リゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。

午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後の区分

午前12時(真夜中の12時):11時30分～1時の間に日付が変わります。
午後12時(お昼の12時) :日付は変わりません。

曜日・日付のついている時計：cal. EL01/EM01



- 1) 秒針が0秒の位置で、リゅうずをC(2段引き)の位置に引き出し、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 2) 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB(1段引き)の位置に戻し、右に回して曜日を本日の曜日に合わせ、左に回して日付を本日の日付に合わせてください。
- 3) 曜日・日付が合いましたら、リゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。

午後9時～午前4時30分までは曜日・日付の修正はしないでください。曜日、日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。曜日、日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後の区分

午前12時(真夜中の12時):11時30分～1時の間に日付が変わります。
午後12時(お昼の12時) :日付は変わりません。

ソーラー電源機能搭載ウォッチ 取り扱いの注意

- ・同じタイプでも文字板のデザインにより受光量が異なり充電時間が異なります。
- ・フル充電すると光を受けない状態でも持続時間内であれば、時計は正常に動き続けます。
- ・時計をはずした時には、できるだけ明るい所に置くように心がけると、時計は常に正しく時を刻み続けます。
- ・長袖などで、常に光に触れない状態の時は、止まる場合がありますので、ご注意ください。

警告 二次電池の取り扱いについて

- ・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
- ・やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- ・一般のごみと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、住まいの自治体の指示に従ってください。

警告 指定の電池以外は使わないでください

この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んででも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

注意 充電上の注意

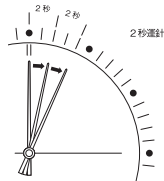
- ・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。
- 例) 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所の充電。
- ・白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

二次電池の交換について

この時計に使われている二次電池は充電・放電を繰り返し行えるため、一般の電池のように定期的な電池交換の必要はありません。

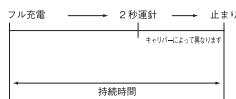
ソーラー電源機能搭載ウォッチ 特有の付加機能について

○充電告知機能



充電不足を知らせていますので、十分に光を当ててください。
2秒運針は、約2～4日続きます。

※2秒運針している時、時計は正確に作動しますがキャパシターの容量が減っていきますので、1秒運針になるまで、十分に光を与え、充電して使用するように心がけてください。



充電が完了しても変則2秒運針は止まりません。

時計が止まって充電をした後には、必ず時刻合わせをしてください。時刻合わせをしない場合は、時刻合わせするまで変則2秒運針が止まりません。時刻合わせを行うと変則2秒運針は止まります。

○クイックスタート機能

充電が全くされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。(モデルや光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります。)ただし、この時に光をさえぎると充電が十分でないため、時計が再び停止してしまいますので、ご注意ください。

○過充電防止機能

二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので、安心して充電ができます。

充電時間の目安

時計のモデル(文字板の色など)によっては充電時間が異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

(最大値)	環境	充電時間		
		一日分の充電時間	止まってから一秒運針までの充電時間	フル充電時間
3針	室内照明 500Lux	1.5時間	20時間	190時間
	蛍光灯スタンド(15W2本の下20cm) 3,000Lux			
	曇天 10,000Lux	35分	6時間	70時間
	夏の日の直射日光 100,000Lux	9分	2時間	25時間

リゅうずを完全に引いた状態で充電してください

リゅうずを押し込んだ状態でも充電はされますが、リゅうずを完全に引いた方が充電はスムーズに行われます。